

## 「二十歳の集い実行委員会との語る会」

日時：11月22日（火） 午後7時から（会場：区役所1003会議室）

### ◇成人年齢引き下げによる消費者トラブル防止について

質問	回答	対応
<p>成人となる年齢が引き下げられ、親の同意がなくとも契約できるものがたくさん生まれました。しかし、これは消費者トラブルに巻き込まれやすくなったりするなどのトラブルにつながりかねない状況であると思います。</p> <p>このようなことを未然に防ぐ対策として、講習や啓発などを区として行うことはできないのでしょうか。</p>	<p>区では、契約の基本や消費者トラブル事例、キャッシュレス決済等について、専門的な知識を持つ消費生活相談員による出前講座を行っています。この出前講座は、サークル等の区内の団体であれば無料で実施できますので、ぜひ、ご活用いただければと思います。</p> <p>また、若者に多い消費者トラブルについてのミニ講座を区公式YouTubeチャンネルで配信したり、消費者ニュース「くらしのちえ」で成年年齢の引き下げについて掲載したりしています。</p> <p>このほか、18歳の誕生日に個別に「1人で契約するときの注意点」等を記載したハガキを送付し、啓発を行っています。</p> <p>今後も区公式SNSの活用等を含め、様々な機会を捉えて啓発に取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

◇台東区の災害対策について

質問	回答	対応
<p>隅田川や荒川が氾濫した際に、台東区内のほとんどの地域が冠水するのではないかと考えられますが、今後大地震が起こる可能性が高くなる中で、台東区が取る対策について区長はどのようにお考えでしょうか。</p>	<p>区として、区民の生命、財産を守ることは最も大切な役割です。同時に、災害では自らの命は自分で守る意識も重要となります。</p> <p>水害対策については、荒川が氾濫した場合には、区内の多くで浸水の深さが3 m以上、浸水継続時間が2週間以上と想定されます。そのため、マンションなどでも孤立してしまうことから、親せき宅やホテルなどへ早めに広域避難をお願いしています。</p> <p>また、災害時の情報などを手に入れるため、今便利に使っていただいているのが「台東区防災アプリ」です。簡単に登録することができますので、ぜひダウンロードしてご活用ください。</p> <p>地震対策については、区民の防災意識啓発として、防災出前講座の実施や、家庭向けの備蓄品・家具転倒防止用品のあっせんなどに取り組んでいます。</p> <p>なお、鉄道が運休し、多くの帰宅困難者が上野駅などに滞留することが想定されるため、その滞在施設の確保や民間事業者や学校等に一齐帰宅抑制の啓発も行っています。</p> <p>今後も災害対策を推進するとともに、防災対策の普及啓発に取り組み、地域防災力の向上を図ってまいります。</p>	<p>○</p>

◇夜間の安全確保について

質問	回答	対応
<p>台東区には女性でも男性でも、夜1人で歩くにはかなり心細い場所があると思うのですが、そのような環境をどのように考えているのか、改善策としてはどのようなものがあるのか教えていただきたいです。</p>	<p>暗い夜道や繁華街など、夜1人で歩くには心細い場所の安全対策は重要です。</p> <p>道路には街路灯を設置し、必要な明るさを保つことで、夜間における安全の確保に努めています。</p> <p>また、昼夜を問わず、犯罪の抑止や事件の解決にとっても有効であると考えられる、防犯カメラを設置しています。区では、町会など地域団体の自主防犯活動を補完する目的として、地域団体等が設置する防犯カメラの設置費用等に対し補助を行っており、補助制度を活用して、現在約1,100台の防犯カメラが稼働しています。</p> <p>さらに、繁華街等の環境整備として、区内全域を対象に客引き行為等の禁止を条例で定めています。不忍池の近くの仲町通りなどで、地元の商店街や町会の方々とパトロールを行い、安心して買い物やお食事を楽しんでいただけるよう、繁華街における環境浄化を図っています。</p> <p>今後も様々な防犯対策に取り組み、夜道を1人で歩いていても不安に感じない、安心して暮らせる街づくりを目指してまいります。</p>	<p>○</p>

◇区長の業務内容について

質問	回答	対応
<p>台東区長の仕事内容について、あまり知る機会がなくわからないため、仕事内容について教えてください。</p>	<p>区長の役割とは区民の皆さんが安全で、安心して、健康に暮らせるよう区の方角性を決め、その実現のための「舵取り役」であると考えています。その「舵取り」が迅速にかつ適切に行っていけるよう区民や事業者の皆さんの声を直接聞き、施策に反映させることが私の仕事です。</p> <p>具体的には、産業や福祉・子育て、文化など、区の課題となっている事項に対し、区民の皆さんや議会のご意見を伺いながら、様々な計画を策定し、適切な予算のもと、施策を実行することが仕事内容です。</p> <p>新型コロナウイルス対策では、区民の皆さんがワクチン接種を速やかに行っていただけるよう厚生労働省へ働きかけを行ったことや、ワクチン接種会場の確保のため、民間施設への働きかけや、協力いただく医師会との調整を行いました。</p> <p>また、依然として厳しい経営状況が続いている区内事業者に対しては、資金援助などの支援のほか、適切な支援につながるよう直接事業者の方々とお会いして協議を行っています。</p> <p>これからも、区民の皆さんが希望と活力にあふれた明るい未来が描けるよう、全力で取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

◇多様な生き方の推進について

質問	回答	対応
<p>現在、同性パートナーシップ制度の導入が他自治体で進んでいますが、台東区は同性パートナーシップ制度等の導入は考えていますか。</p> <p>また、LGBTQなど性的に多様な生き方については、どのように考えていますか。</p>	<p>今年11月1日から、東京都がパートナーシップ宣誓制度の運用を開始しました。</p> <p>区では、東京都パートナーシップ宣誓制度受理証明書を保有している区民の方を対象に、高齢者住宅、特定優良賃貸住宅への入居申し込みや、区立台東病院での各種手続きにおける家族としての対応など、区の行政サービスが受けられるようにしています。</p> <p>また、性的指向や性自認などの性の多様性は尊重されるべきものであり、セクシュアリティを理由とする偏見や差別をなくすために、人権のつどいや人権講座などを通じて、区民の皆様に啓発を行っています。</p> <p>悩みをひとりで抱え込まず相談できるように、生涯学習センターにある「はばたき21相談室」では「こころと生きかたなんでも相談」を行っています。</p> <p>さらに、区で使用している申請書や証明書等について、収集する必要がない場合は性別欄を削除する取り組みを行っています。</p> <p>今後もすべての人々が性別や国籍などに関わらず、誰もが自分らしく生きるための多様性社会の実現を目指して、人権啓発をはじめとした様々な取り組みを行ってまいります。</p>	<p>○</p>

◇台東区の喫煙所について

質問	回答	対応
<p>東京都が令和2年4月から受動喫煙防止条例を施行したことにより、喫煙者が肩身の狭い状況になっています。</p> <p>そもそも、台東区中に飲食店以外の屋外の喫煙所があまりにも少なく、路上喫煙をしている人も多く見受けられるのですが、喫煙所を増やす等の対策を何かお考えでしょうか。</p>	<p>令和2年4月に「改正健康増進法」および「東京都受動喫煙防止条例」が全面施行され、屋内での喫煙が制限されたことなどに伴い、屋外における喫煙が増加し、公衆喫煙所の需要が高まるなど、喫煙環境が大きく変化しています。</p> <p>区では、重点的に公衆喫煙所の整備が必要なエリアを「重点整備エリア」と設定し、公衆喫煙所の整備を推進しています。</p> <p>また、今年度より、民間事業者等による公衆喫煙所の整備に係る設置経費、および維持管理経費の助成を開始し、区による整備に加え新たな手法を取り入れながら公衆喫煙所の整備を進めているところです。</p> <p>なお、区公式ホームページで、公衆喫煙所ウェブマップを掲載し周知することで、公衆喫煙所の利用を促進しています。</p> <p>引き続き公衆喫煙所を整備し、屋外における分煙を推進するとともに、喫煙する人としていない人が共存できる環境の整備に努めてまいります。</p>	<p>○</p>